

「ポストサミット」関連事業について（案）

平成27年12月7日
戦略企画部企画課

1 「ポストサミット」について

三重県における「ポストサミット」とは、伊勢志摩サミットの「レガシー」を、三重の未来に生かすことです。サミット開催は千載一遇のチャンスであり、これを一過性にせず、サミットの資産を次世代に継承していかなければなりません。

<「レガシー」とは>

○一般に「レガシー」は遺産や受け継いだものを意味しますが、ここでは、サミットの開催により地域にもたらされる有形無形の好影響を指しており、現時点で想定される伊勢志摩サミットの「レガシー」を次の3つに整理しています。

①知名度等の向上

- ・三重及び伊勢志摩の知名度の向上や評価・関心の高まり
- ・県民と海外・世界との距離が縮まること 等

②会議自体の成果

- ・宣言、方針、共同声明等や、それらに基づく計画、取組等

③地域の総合力の向上

- ・県民や地域の一体感の醸成
- ・郷土に対する愛着や誇りの高まり
- ・地域に対する理解の深化、地域のネットワークの強化
- ・おもてなしの力の向上
- ・アクティブ・シチズンの増加
- ・県民力により、世界最高峰の会議を安全・安心に開催するために取り組んだ経験 等

2 「ポストサミット」の基本的な考え方

サミットは、三重の知名度等を高めるチャンスであるばかりでなく、県民の皆さんが郷土に対する愛着や誇りを高めたり、自分が暮らす地域に対する理解を深めたりすることにより、アクティブ・シチズンとして一層活躍する契機ともなります。

サミット開催に向けた「オール三重」による取組は、県民の皆さんがサミットの成果を地域の発展のために生かそうとする行動や、地域をより良くしようとする行動へとつながります。そのことにより、地域の活力・魅力が高まって、観光やビジネスなどのさまざまな分野で三重が世界から選ばれるようになり、それが次世代の希望につながっていくという「正のスパイラル」が生まれ、地域の持続的かつ自立的な活性化が図られます。

そのように、サミットのレガシーを最大限に生かし、三重の未来を「地方創生のモデル」として持続的に発展させていくことが、「ポストサミット」の基本的な考え方です。

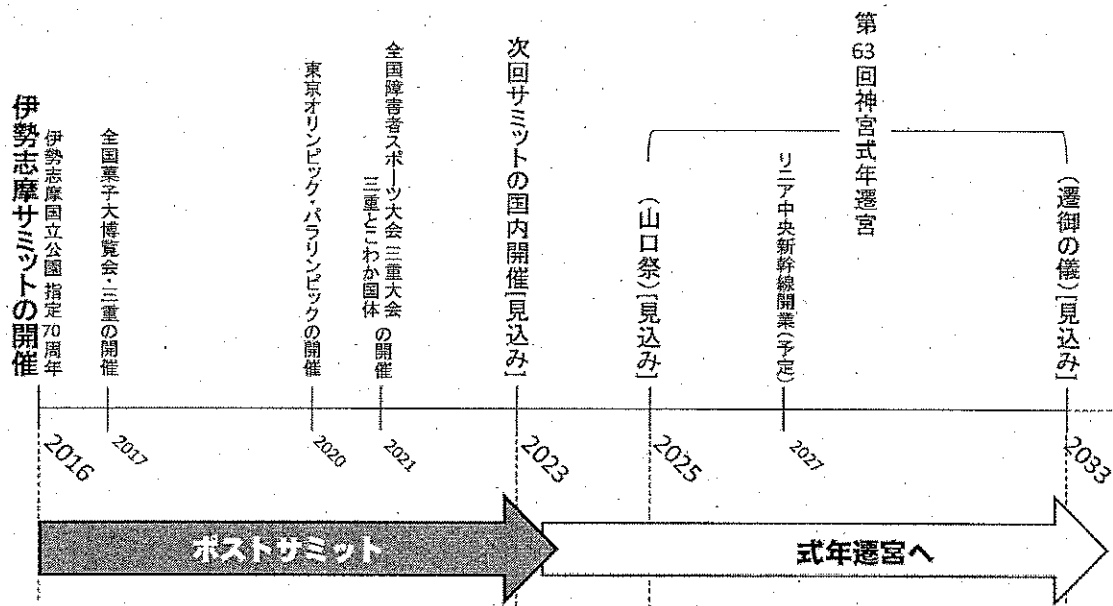
3 具体的な取組について

○「ポストサミット」の取組の基本的性質は、以下のとおりと考える。

- ・ サミットが開催されるからこそ生まれる（発展する）取組
- ・ アクティブ・シチズンとしての県民の行動を促す取組
- ・ サミット開催後、一定期間にわたって効果が持続する取組

○「伊勢志摩サミットの開催後、我が国での次のG7サミット開催地が決定するまで」を、本県の「ポストサミット」の期間と捉え、長く効果が持続すると期待される取組を展開します。そして、同じく国内外からの注目を集める「第63回神宮式年遷宮」に向けて、スムーズにバトンを渡していきます。

＜「ポストサミット」の時間軸イメージ＞



○平成 28 年度当初予算においては、以上の考え方にに基づき、次の 3 つの観点から事業を構築し、予算要求しました。

① 人と事業を呼び込む

(知名度の向上を最大限に生かし、国内外の人々と事業を呼び込む取組)

② 成果を発展させる

(サミットそのものの成果を引き継ぎ発展させる取組)

③ 次世代に継承する

(サミットを通じて高まった地域の総合力を、次世代の育成や地域の魅力向上につなげる取組)

※なお、今回予算要求した事業はポストサミット関連事業の一部であり、サミットのテーマ決定や開催結果を踏まえて、引き続きポストサミットの取組を検討していきます。

ポストサミット関連事業

① 人と事業を呼び込む (265,522千円)

MICE (50,899千円)	○世界の次世代を呼び込む国際会議開催事業費【雇用経済部】(30,000千円) ○海外MICE誘致促進事業費【雇用経済部】(20,899千円)
インバウンド (127,023千円)	○海外誘客推進プロジェクト事業費【雇用経済部】(103,572千円) ○地域活性化(観光活性化)ファンド組成事業費【雇用経済部】(20,000千円) ○三重県版バリアフリー観光促進事業費【雇用経済部】(3,451千円)
食の産業振興 (73,613千円)	○みえの農林水産物の魅力総合発信事業費【農林水産部】(26,000千円) ○「みえの食」グローバル市場獲得推進事業費【雇用経済部】(47,613千円)
国際戦略 (13,987千円)	○グローバル創業支援事業費【雇用経済部】(8,494千円) ○外資系企業ワンストップサービス推進事業費【雇用経済部】(5,493千円)

② 成果を発展させる (27,491千円)

安全・安心 (1,153千円)	○安全安心まちづくり事業費(犯罪から県民を守るアクションプログラム(仮称)策定) 【環境生活部】(1,153千円) ※1
サミットの聖地 (14,847千円)	○みえの農林水産「八百万サミット」開催事業費【農林水産部】(12,847千円) ○世界に開かれた魅力ある三重づくり促進プログラム事業費【雇用経済部】(2,000千円)
環境 (11,491千円)	○みえの環境技術移転国際会議開催事業費【雇用経済部】(11,491千円)

③ 次世代に継承する (2,538千円)

次世代育成 (2,538千円)	○三重県高校生サミット開催事業費【教育委員会】(2,538千円) ※2
--------------------	-------------------------------------

※1:平成28年度当初予算要求状況資料(4) 2 施策別要求事業一覧へ計上

※2:平成28年度特定政策課題枠 事業一覧表 2. 伊勢志摩サミット対策分(1)伊勢志摩サミット対策分へ計上